

土小コミュニティー・スクールだより NO.2

R4. 12. 23 文責 土淵小学校副校長 石澤綾子

熟議「土淵の子どもたちのために地域・学校ができること」

12月2日(金)今シーズン初の積雪でお天気が心配された中でしたが、ファシリテーターに中部教育事務所 主任社会教育主事 秋澤美加子氏、同 猪澤 真氏、北上まちづくり部生涯学習文化課 主査 島田 晶夫氏をお迎えし、地域の方やPTAの方々、東中学校長、本校職員等、26名が参加し「熟議」が開催されました。アイスブレイクで温かい雰囲気の中、グループに分かれ、どのグループでも活発な意見交流が行われました。

テーマ **私たちが「体験を通じて、子どもたちにふるさと遠野・土淵のよさを伝えよう」とするとき、それを難しくする(妨げる)要因には何が考えられるか?**

ラウンド1~3に分け、交流を深めたり、グループメンバーを変えたり、他のグループの意見を見合ったり・・・様々なスタイルをとりながら話合っていました。

ラウンド1 「難しくする(妨げる)要因」について自由な意見交流を行う。

ラウンド2 出された意見の中から「難しくする(妨げる)要因」を1つ選び、それについて交流を深める。

中間まとめ! ~皆さんから出された意見(付箋)を整理し、「難しくする要因」を大きく3つにまとめました。

一つ目は「人」

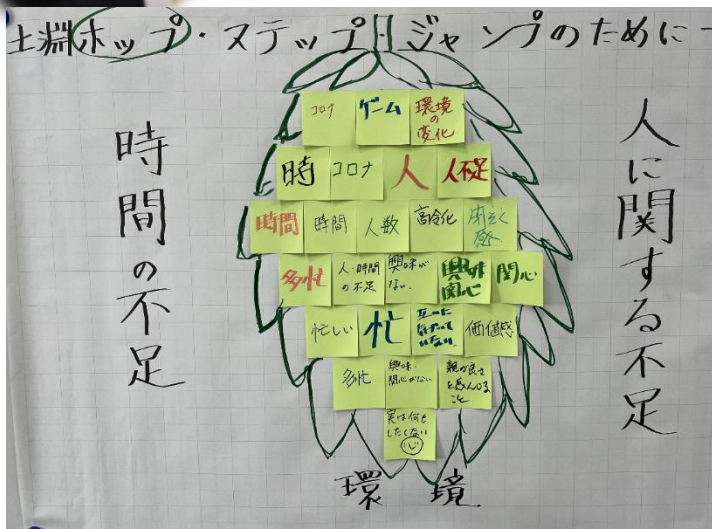
- ・人の数が足りない、高齢化により伝承する人が減っている、コミュニケーション不足による興味・関心の希薄

二つ目は「時間」

- ・子どもも大人も忙しい

三つ目は「時代の変化」「新型コロナウイルス」に起因する環境

- ・興味・関心が体験よりもメディア
- ・新型コロナウイルスによる様々な制限



ラウンド3 絞り込まれたキーワード「人・時間・環境」の難しさを軽減するために自分（たち）ができることについて意見交換を行う。

みなさんから出された「自分にできること！」

- 人の掘り起こし
- 感染症対策
- 安全対策への協力
- 機会をつくる
- 体力はないけど時間は有る
- ハードルを低くする（小さなことから）
- 時間をつくる努力をする
- 自然のよさを伝えるようにする
- 関心を持つ
- 関係人口を増やす
- 完璧じゃなくてもよい
- 一人で抱えない
- 心をつなぐ、コミュニケーション
- 自分の体験を話してきかせる
- 子どもがやりたいと思ったら一緒に学ぶ、調べる
- 外に出かける
- 一緒に昔遊びをする
- 積極的に関わりを持つ
- 自然に親しむ
- 地域の伝統芸能に興味を持ってもらう、教える
- 自分が余裕を持つ
- 祖父母交流
- 助け合う
- 支え合う
- 積極的に体験する、させる
- 子どもたちにたくさんの職業を教える
- 情報発信
- あいさつをする
- 子どもと一緒に地域活動に参加する
- ボランティア活動
- 円満
- 読み聞かせ
- とりあえず参加する
- 地域や家庭の和を大事にする

地域、保護者、学校…それぞれの立場で自由な意見交換が行われ、「自分にできること」がこんなにたくさん出され、有意義な会になったと感じています。お忙しい中、参加いただきありがとうございました。

参加できなかった方にも、「土淵の子どもたちのために自分にできること」を考えるきっかけとなれば幸いです。



うちの近所にわら細工のプロがいるよ。教えてもらえるんじゃないか？



他のグループではどんな意見が出されたんだろう？